

●評価規準案

高等学校公民科 「高等学校 現代社会 新訂版」 (35・清水・現社316)

月	編	学習内容 (目次)	評価の観点			
			関心・意欲・態度	思考・判断・表現	資料活用・技能	知識・理解
4月	第1編 現代社会における諸課題	(1) 環境(地球環境問題) (2) 環境(資源・エネルギー問題) (3) 生命 (4) 情報	【関意】 現代社会の諸課題に関心を持ち、意欲的に追究し、自己の生き方と関連させながら考察しようとしている。	【思判表】 現代社会の諸問題を幸福・正義・公正などの観点から多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	【技】 現代社会の諸問題に関する諸資料を、様々なメディアから適切に選択して収集し、効果的に活用している。	【知理】 現代社会の諸問題の現状や課題、社会の在り方を考察する基盤としての幸福・正義・公正について理解し、その知識を身に付けている。
5月		第1章 青年期と自己の形成				
		1 青年と自己実現 (1) 青年期とはどういう時期なのだろう (2) 現代社会と青年期の生き方 (3) はたらくこと、社会とかかわること	青年期に関する関心を高め、自己形成についての課題を意欲的に追究し、現代社会での自己の生き方について考察している。	青年期に関する諸事象から課題を見だし、自己形成と青年の生き方について幸福・正義・公正の観点から多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	青年期に関する諸資料を、様々なメディアから適切に選択して収集し、効果的に活用している。	青年期の意義、勤労観や職業などについて理解し、その知識を身に付けている。
		2 よりよく生きることを求めて (1) 哲学と思想 (2) 信仰と世界の三大宗教 (3) 近代への歩み (4) 近代社会を生きる (5) 近代理性への批判 (6) 日本の生活文化 (7) 日本の伝統思想	近代ヨーロッパの人間観や日本の生活文化、思想について関心を高め、自己の生き方と関連させながら考察している。	近代ヨーロッパの人間観や日本の生活文化、思想についての諸事象から課題を見だし、自己の生き方について多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を様々な方法を適切に表現している。	近代ヨーロッパの人間観や日本の生活文化、思想に関する諸資料を、様々なメディアから適切に選択して収集し、効果的に活用している。	世界の三大宗教の共通点や近代ヨーロッパの人間観や日本の生活文化、思想について理解し、その知識を身に付けている。
		第2章 現代の民主政治と政治参加の意義				
6月		1 民主政治の基本原則 (1) 基本的人権の保障 (2) 日本国憲法の成立と三大原則 (3) 日本国憲法の国民主権と天皇制 (4) 日本国憲法の人権保障-平等権と自由権 (5) 日本国憲法の人権保障-社会権 (6) 日本国憲法の人権保障-政治に参加する権利と新しい人権 (7) 国の法律・政策を決める国会 (8) 国の具体的な政治を行う内閣 (9) 人権と法を守る裁判所 (10) 日本の平和主義	現代の民主政治に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主社会における人間としての在り方生き方を考察している。	現代の民主政治に関する諸事象から課題を見だし、民主社会の在り方について多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	現代の民主政治に関する諸資料を、様々なメディアから適切に選択して収集し、効果的に活用している。	基本的人権の保障、日本国憲法の基本原則、三権分立、平和主義などについて理解し、その知識を身に付けている。
7月		2 国民の政治参加と地方自治 (1) 地方自治-住民の政治参加 (2) 政党政治と選挙 (3) マスメディアの役割と世論の形成	政治参加に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主社会における人間としての在り方生き方を考察している。	政治参加や地方自治に関する課題を見だし、民主社会に主体的に生きる人間の在り方生き方について幸福・正義・公正を用いて多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	民主社会において主体的に生きる人間の在り方について学習するための諸資料を、様々なメディアから適切に選択して収集し、効果的に活用している。	地方自治や選挙などについて理解し、その知識を身に付けている。
9月		第3章 個人の尊厳と法の支配				
	第2編 現代社会	1 個人の尊重と法 (1) 個人の尊重と自由、責任 (2) 個人と社会 (3) 法の意義と役割 (4) 開かれた司法制度に向けて	民主社会と法の役割に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、個人の尊重と法の支配について考察している。	現代の民主社会における法に関する課題を見だし、個人と法について多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	個人の尊重と法の支配に関する諸資料を、様々なメディアから適切に選択して収集し、効果的に活用している。	個人の尊重や法の支配、司法制度などについて理解し、その知識を身に付けている。

	の あ り か			切に表現している。		
--	------------------	--	--	-----------	--	--

10月	たと私たちの生きかた	2 民主社会と倫理 (1) 生命はかけがえない価値をもつ (2) 差別のない世界へ (3) 公正な社会の実現をめざして	人間の尊厳、平等などに関する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主社会において他者と共に生きる人間の在り方について考察している。	生命倫理や差別などに関する課題を見だし、民主社会において他者と共に生きる人間の在り方について幸福・正義・公正を用いて多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	生命倫理、差別などに関する諸資料を、様々なメディアから適切に選択して収集し、効果的に活用している。	正義や共生などについて理解し、その知識を身に付けている。
		第4章 現代の経済社会と経済活動のあり方				
		1 現代の経済社会 (1) 経済主体と経済循環 (2) 景気変動と物価 (3) 経済規模と経済成長 (4) 戦後の日本経済の復興と民主化政策 (5) 企業の役割とはたらき (6) 租税のしくみと財政政策 (7) 金融機関と金融政策	現代の経済社会に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済社会の在り方について考察している。	現代の経済社会に関する課題を見だし、経済社会の在り方について多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	現代の経済社会に関する諸資料を、様々なメディアから適切に選択して収集し、効果的に活用している。	現代の経済社会に関する基本的事項について理解し、その知識を身に付けている。
		2 経済活動のあり方 (1) 社会保障制度の役割と課題 (2) いま、どんな労働問題があるのだろうか？ (3) 環境を守るために (4) 私たちの安全な食物と日本の農業 (5) 消費者と企業－私たち一人ひとりの責任	社会保障制度や労働、環境などの諸課題に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、経済活動の在り方について考察している。	社会保障制度と個人の経済活動に関する課題を見だし、国民福祉と経済活動の在り方について幸福・正義・公正の観点から多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	社会保障制度と個人の経済活動に関する諸資料を、様々なメディアから適切に選択して収集し、効果的に活用している。	社会保障制度や労働、環境、農業、消費者問題などについて理解し、その知識を身に付けている。
11月		第5章 国際社会の動向と日本の果たすべき役割				
		1 国際社会の動向 (1) グローバリゼーションと国際社会 (2) 冷戦のはじまりと世界の動き (3) 国際収支と為替相場 (4) 経済のグローバル化とリージョナリズム (5) 国際経済における諸課題 (6) 冷戦後の世界－紛争の解決に向けて－ (7) 核兵器と軍縮の問題 (8) 国際連合と国際平和	国際社会における政治や経済などの諸課題に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、国際社会の在り方について考察している。	国際社会における政治や経済に関する課題を見だし、国際平和や国際協力の在り方について幸福・正義・公正を用いて多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	国際社会の動向、国際政治や国際経済に関する諸資料を、様々なメディアから適切に選択して収集し、効果的に活用している。	国際社会の成り立ちや国際法などについて理解し、その知識を身に付けている。
		2 国際社会と日本 (1) 日本の安全保障と平和維持活動 (2) 日本と世界のつながり (3) 私たちの国際協力	国際社会における日本の役割に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、国際協力の在り方と自己の生き方について考察している。	国際社会における日本の役割に関する課題を見だし、国際平和と安全保障の在り方について多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。	日本の安全保障や平和維持活動に関する諸資料を、様々なメディアから適切に選択して収集し、効果的に活用している。	安全保障や国際協力などについて理解し、その知識を身に付けている。
3月	第3編 めざして ともに生きる社会を	○先進国と発展途上国 ○財政から考える現役世代と将来世代 ○臓器移植を考える	持続可能な社会の形成に関する関心を高め、それを意欲的に追究し、現代に生きる人間としての在り方生き方について考察している。	持続可能な社会の形成に参画するという観点から課題を見だし、幸福・正義・公正を用いて多面的・多角的に考察し、様々な考え方を踏まえて公正に判断し、その過程や結果をランキング、小論文、構想図などで適切に表現している。	持続可能な社会の形成に参画するという観点で課題を探究するための諸資料を、様々なメディアから適切に選択して収集し、効果的に活用している。	持続可能な社会の形成に参画するという観点で課題を探究するため、ランキングの方法、小論文の書き方、構想図の描き方などの方法について理解し、その知識を身に付けている。